

京都府次世代自動車普及推進協議会
「第1回 FCV・水素社会研究部会」
議事概要

- 1 日 時 平成27年2月16日(月) 14時～16時
2 場 所 京都府庁1号館1階 文化環境部会議室
3 出席者 委 員：学識経験者、自動車メーカー、関係各団体、ガス会社等
京都府：石野環境・エネルギー局長、森田環境・エネルギー局副局長他
計11名

4 議 事 燃料電池車の普及促進に向けた取組について

5 主な意見

<FCV普及・水素ステーション整備促進について>

- 水素ステーション整備は、FCVの普及見込台数との対応のみで検討するのではなく、クリーンな環境が必要な工場等で利用されているFCフォークリフトなど、産業分野との連携も含め、配置・整備基数等を検討すべき。
- 防災面での活用やエネルギーマネジメントなども含めた広い視点での検討が必要。
- 費用対効果の面では、オンサイト型の水素ステーション基地から水素を出荷・供給する移動方式も現実的なアプローチと考えられる。
- 自治体に対しては、FCV導入や水素ステーション整備に向けた独自補助等のインセンティブとなる支援をお願いしたい。

<水素利用に対する普及啓発について>

- 府民への水素に対する受容性を高めるため、水素の安全性をどのように伝えていくのか、積極的な普及啓発活動の推進が特に必要。
- 自治体での公用車への率先導入についても、普及啓発効果が期待できる。
- 首長クラスが参加した企業等の取組事例発表や講演は、普及啓発に向けてよい機会となる。
- FCVの普及を通じた2,3年後の社会、10年後の社会の目標を明確にして、水素社会実現に向けて動いているということ周知していくべき。

<水素関連産業の創出について>

- 水素関連産業の創出として、水素ステーションの関連部材の開発や製造に係る中小企業支援も大切。整備費用のコスト低減や規制対応にも寄与すると考えられる。